

## 民間社会福祉施設職員退職手当共済事業 運営委員会報告

次のとおり運営委員会を開催しました

### 1. 令和6年度第2回運営委員会

日時：令和6年12月11日(水) 10:30~11:55

場所：県立ふくし交流プラザ5階研修室A

出席：運営委員15名中10名出席

下記の事項に関する審議が行われました。

#### 審議事項

- (1) 掛金率並びに政策アセットミックス及び「退職積立資産の運用に関する基本方針」に定める資産構成割合について

#### 審議事項

- (1) 掛金率並びに政策アセットミックス及び「退職積立資産の運用に関する基本方針」に定める資産構成割合について

##### ●掛金率について

共済事業の財政の健全化と掛金の適正化を図るため、3年に1回行う財政再計算の結果について、三菱UFJ信託銀行から報告があり、現行の退職共済掛金率を見直すかが審議されました。

##### 【結果】

「昇給率が1.5%→1.1%と少し下がってきているが、資産(掛金収入)が減ると負債(退職金給付)も減るので、現行の3.2%で剰余金も充分にあり、現状維持で問題ない。」との報告があったことから、「掛金率は現状維持とする」こととなりました。

##### ●政策アセットミックス及び「退職積立資産の運用に関する基本方針」に定める資産構成割合について

今年度実施した年金ALM分析(退職給付制度の年金資産及び負債の将来予測)の結果をもとに、現在の政策アセットミックス及び資産構成割合を見直すかが審議されました。

##### 【結果】

三菱UFJ信託銀行の見解および資産運用小委員会の結論を参考に、「現行の政策アセットミックス及び資産構成割合を維持する」こととなりました。

新政策アセットミックス【現行維持】 (単位：%)

資産分類	資産構成割合(時価基準)
国内債券	61
国内株式	11
外貨建債券	15
外貨建株式	11
その他資産	2
合計	100

ただし、上下10%以内の乖離幅を認める。

### 2. 令和6年度第3回運営委員会

日時：令和7年3月4日(火) 13:30~14:55

場所：県立ふくし交流プラザ5階研修室A

出席：運営委員15名中13名出席

下記の事項に関する審議等が行われました。

#### 審議事項

- (1) 令和7年度運用ガイドラインについて  
(2) 令和7年度事業計画及び予算案について

審議事項

(1) 令和7年度運用ガイドラインについて

令和7年度の運用ガイドラインについては、要支給額に対する充足率が170%を超えていること、現状のガイドラインで令和7年度は期待収益率が2%を超える予想であることなどを踏まえ、幹事行である三菱UFJ信託銀行の提案どおり、現行運用ガイドラインを継続することが承認されました。

資産	現行運用ガイドライン		
	下限	中心値	上限
国内債券	51.0%	61.0%	71.0%
国内株式	1.0%	11.0%	21.0%
外国債券	5.0%	15.0%	25.0%
外国株式	1.0%	11.0%	21.0%
短期資産	0.0%	2.0%	12.0%
合計		100.0%	

(2) 令和7年度事業計画及び予算案について

事業計画及び予算案を審議し了承されました。(予算額は次のとおり)

●民間退職手当共済事業	予算額	802,377千円	(前年度 786,995千円)
●65歳以上被共済職員退職手当共済事業	予算額	52,485千円	(前年度 77,756千円)
●民間退職手当共済事務費事業	予算額	29,442千円	(前年度 28,237千円)
	計	884,304千円	(前年度 892,988千円)

令和7年度は届出の電子化を実施予定です。

## 令和6年度上期信託運用状況報告書 (令和6年4月～令和6年9月)

### 1. 市場概況

#### (1) 4月～6月期

【株式】内外株式は上昇しました。外国株はECBの利下げが好感されたほか、主要半導体銘柄の良好な決算を受けた業績拡大期待から上昇しました。国内株は国内金利の上昇が重しとなる局面もありましたが、円安進行による企業業績の改善期待を背景に上昇しました。

【金利】国内金利は上昇、外国金利は高止まりました。外国金利はFRB高官のタカ派発言を背景に上昇も、米景気の減速懸念の高まりやECBが利下げしたことを背景に上げ幅を縮小しました。国内金利は、日銀の追加利上げ観測が高まったことを背景に上昇しました。

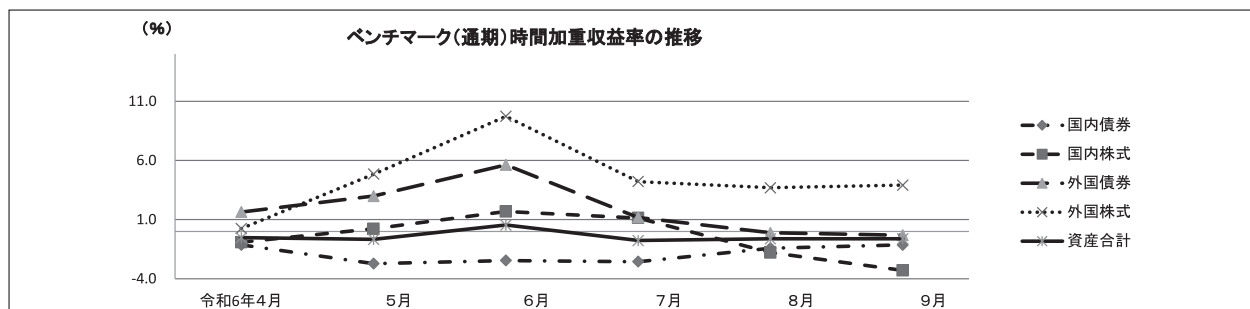
【為替】ドル円は、日米金利差が当面縮小しにくいとの見方から投機的な円売りが増加したほか、日銀が国債買入れの減額計画の公表を先送りしたことで円が売られ上昇しました。ユーロ円は、賃金の高止まりを背景にユーロが買われ上昇しました。

#### (2) 7月～9月期

【株式】外国株は米景気減速懸念の高まりで一時的に下落しましたが、FRBによる0.5%の利下げ決定や中国の景気刺激策発表を好感し上昇しました。国内株は日銀の追加利上げを受け一時急落しましたが、円高進行の一服や植田日銀総裁のハト派発言を好感し下げ幅を縮小しました。

【金利】内外金利は低下しました。外国金利はFRBによる0.5%の利下げ決定や、欧消費者物価の鈍化を背景としたECBの追加利下げを受け低下しました。国内金利は日銀が追加利上げを決定も、株式の急落に伴い安全資産として買われたほか、外国金利の影響を受け低下しました。

【為替】ドル円は、7月の日銀決定会合における追加利上げに加え、FRBによる0.5%の利下げ決定を受けた日米金利差縮小を背景に円が買われ下落しました。ユーロ円は、欧消費者物価の鈍化を受けたECBの追加利下げを背景にユーロが売られ下落しました。



各月の数値は4月1日からの実績を表す。(通期)

ベンチマーク……国内株式におけるTOPIXのような基準となる運用成果の指標(市場平均値)。

時間加重収益率……コントロールできない現金の出入りの影響を取り除くことで、評価損益込みの運用成果をより正しく表わす利回り。

## 2. ベンチマーク及び運用機関別時間加重収益率の推移（資産合計・通期） （単位：％）

月	令和6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
信託銀行						
ベンチマーク	-0.52	-0.67	0.55	-0.76	-0.62	-0.62
三菱UFJ	-0.48	-0.42	0.87	-0.53	-0.81	-0.86
超過収益率	0.04	0.25	0.32	0.23	-0.19	-0.24
三井住友	-0.59	-0.68	0.63	-0.81	-0.71	-0.81
超過収益率	-0.07	-0.01	0.08	-0.05	-0.09	-0.19

## 3. 資産別時間加重収益率（令和6年4月～令和6年9月）

	三菱UFJ信託銀行	三井住友信託銀行	ベンチマーク
国内債券	-1.20%	-1.06%	-1.13%
国内株式	-3.90%	-3.11%	-3.29%
外国債券	-0.13%	-0.28%	-0.32%
外国株式	3.87%	2.48%	3.91%
その他	0.07%	0.01%	
資産合計	-0.86%	-0.81%	-0.62%

## 4. 運用機関別運用額 （単位：円）

	令和6年9月30日現在			令和5年度末 (令和6年3月31日現在)	期中増加額
	三菱UFJ信託銀行	三井住友信託銀行			
信託元本	6,483,931,539	4,735,851,297	1,748,080,242	6,300,690,180	183,241,359
簿価	6,585,773,026	4,825,766,067	1,760,006,959	6,527,912,201	57,860,825
時価	7,522,961,393	5,504,347,308	2,018,614,085	7,646,116,744	-123,155,351
評価損益	937,188,367	678,581,241	258,607,126	1,118,204,543	-181,016,176

信託元本……… 本会からの委託資産額【拠出金総額－（退職給付金総額＋総幹事報酬）＋実現益から運用報酬を控除した額\*】  
（実現損益が運用報酬を下回る場合はマイナス）

\*）令和5年度分は令和6年4月1日に元本化されました。

簿価……… 購入時の価格

時価……… 調査時点の市場価格

評価損益……… 時価と簿価の差額であり、プラスであれば購入時より値上がりしていることを表します。

## 5. 資産別運用状況（時価） （令和6年9月30日現在）

資産	運用ガイドライン		三菱UFJ信託銀行		三井住友信託銀行		合計	
	基本構成比 (%)	基本構成比に対する 変更許容幅 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)
国内債券	61.0	±10	3,315,048,832	60.23%	1,158,468,139	57.4%	4,473,516,971	59.5%
国内株式	11.0	±10	581,083,459	10.56%	259,105,710	12.8%	840,189,169	11.2%
外国債券	15.0	±10	689,347,250	12.52%	296,639,093	14.7%	985,986,343	13.1%
外国株式	11.0	±10	738,726,880	13.42%	244,061,536	12.1%	982,788,416	13.0%
その他	2.0	±10	180,140,887	3.27%	60,339,607	3.0%	240,480,494	3.2%
資産合計	100.0		5,504,347,308	100%	2,018,614,085	100%	7,522,961,393	100%
信託元本			4,735,851,297		1,748,080,242		6,483,931,539	

## 6. 信託報酬 （単位：円）

総幹事報酬	2,222,980
運用報酬	14,054,182
合計	16,277,162

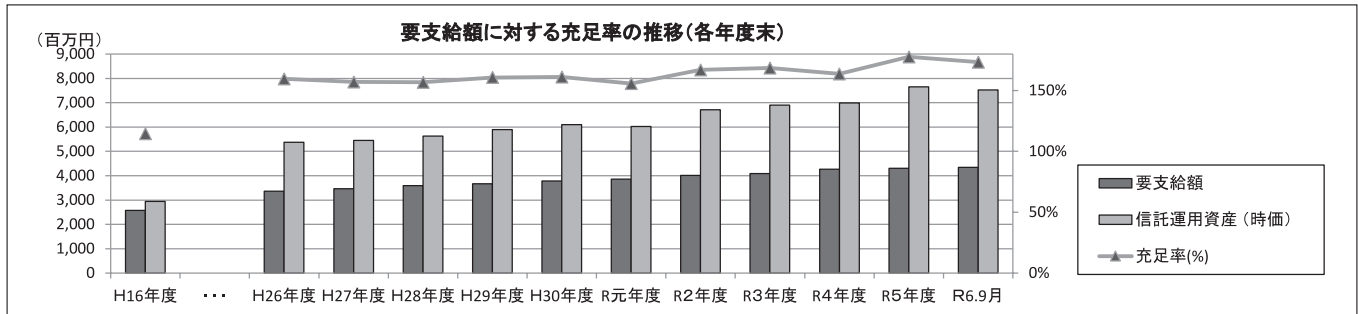
三菱UFJ信託銀行・三井住友信託銀行の合計額

## 7. 要支給額に対する充足率

(単位：円)

	令和6年9月30日現在	〈参考〉 令和6年3月31日現在
要支給額 (A)	4,340,021,953	4,301,729,094
信託運用資産(時価) (B)	7,522,961,393	7,646,116,744
差額 (B) - (A)	3,182,939,440	3,344,387,650
充足率 (B) ÷ (A)	173.34%	177.75%

\* 要支給額…調査時点での加入者（65歳以上の者を除く。）全員の計算上必要とされる退職給付金の総額。



\* 共済制度を運営していくためには、長期的な視野にたつて予定利率（現行 1.5%）に見合う運用実績を確保していく必要があります。信託運用は、様々な価格変動資産（株式、債券等）で運用しますので経済情勢に左右される側面があり、短期的には収益率が上下に振れる場合がありますが、長期的視点から見ていくことが大切だと考えています。

## 令和7年1月末信託運用状況について (令和6年4月～令和7年1月)

### 1. 市場概況

#### ○10月～令和7年1月期

- 【株式】内外株式は上昇しました。外国株は米次期政権の減税政策などを背景とした景気回復期待に加え、FRBの追加利下げを好感し年末までは上昇。1月末にかけては中国で発表された生成AI「DeepSeek」が米国テック企業の大規模投資に影響を与えるとの懸念が広がり下落した結果、上昇幅は縮小しました。国内株は円安進行による企業業績の改善期待を背景に年末にかけて上昇。1月は横ばいでした。
- 【金利】内外金利は上昇しました。外国金利はトランプ氏の経済政策への思惑や、25年の利下げ回数が減少するとの見方が強まったことを背景に上昇しました。国内金利は外国金利上昇の影響に加え、日銀への追加利上げ期待が高まったことを背景に上昇しました。
- 【為替】ドル円は、トランプ次期政権への政策期待に加え、日米金利差拡大を背景に年末にかけてドルが買われ上昇。1月は日銀の追加利上げ期待から、円高方向に動きました。ユーロ円は、日独金利差拡大を背景に上昇しましたが、欧州景気の減速懸念が重石となり上昇幅を縮小しました。

### 2. 運用機関別運用額

(単位：円)

	令和7年1月31日現在			令和5年度末 (令和6年3月31日現在)	期中増加額
	合計	三菱UFJ信託銀行	三井住友信託銀行		
信託元本	6,577,673,142	4,801,470,418	1,776,202,724	6,300,690,180	276,982,962
簿価	6,826,645,352	4,999,907,552	1,826,737,800	6,527,912,201	298,733,151
時価	7,745,854,730	5,667,350,123	2,078,504,607	7,646,116,744	99,737,986
評価損益	919,209,378	667,442,571	251,766,807	1,118,204,543	-198,995,165

### 3. 資産別時間加重収益率（通期） 令和6年4月～令和7年1月

(単位：%)

資産	三菱UFJ信託銀行	三井住友信託銀行	ベンチマーク
国内債券	-2.89	-2.86	-3.14
国内株式	2.29	3.17	2.10
外国債券	3.35	3.07	3.13
外国株式	17.28	14.23	16.78
その他	0.15	0.05	
資産合計	0.89	0.75	0.56

お問い合わせ先

社会福祉法人 高知県社会福祉協議会 総務企画課

TEL：088-844-4865 FAX：088-844-3852